

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ぼいんといちに		
○保護者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 7月 11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 7月 1日 ～ 2026年 7月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様目線・利用者様目線でコミュニケーションを図っている強みがあり、支援に対する意識が職員全体で高まることに期待される	職員全体で支援の共有を行う機会を定期的実施している	専門知識を獲得するために、社内研修・社外研修を実施している
2	児発管を中心とした支援内容の確立・職員が自由な発想でプログラムを作成している事で、利用者様の支援・療育に繋がっている	職員それぞれにチーム分け（役割分担）ができており、集中して取り組める環境であること	専門知識を獲得するために、社内研修・社外研修を実施している
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流回数の少なさ	地域との交流の窓口が無いため	他事業所との交流をきっかけに、外出イベント等の外部との接触回数を増やすこと
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

ぽいんといちに

公表日

年 月 日

利用児童数 23（保護者数22）

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	1			訓練指導室のみではなく、奥のクールダウンスペースや2階を活用している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			5		面談時等に随時お伝えしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1				バリアフリーは現段階ではできないが、「見てわかる」「不要な刺激を与えない」よう、構造化に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		個別支援計画書に明記しているが、支援内容を説明する際ご理解頂けるようお伝えする。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2				必要に応じて改善したり新たな試みを取り入れたながら、個々に合わせたプログラム作りをしているが、更に励みたい。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	1	11		他のデイサービスのイベントに一昨年10名、昨年3名参加。今後は地域のこどもが参加するイベント等にも参加を検討する。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1	5		一昨年はペアレント・トレーニングを週1回3か月に亘り実施。希望者が集まれば計画、実施したい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	7	6		コロナ前は保護者会を定期的に開催していたが、現在は行っていない。要望があれば開催していく。兄弟同士の交流の機会は設けていないが、要望があれば検討したい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		送迎時、電話、面談等相談や申入れへの対応は随時行っているが、周知・説明、適切な対応に努める。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				こどもとの意思疎通は絵カード、パワーポイント等の視覚支援を取り入れる等努めているが、更に励みたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	3		3		紙媒体で月1回行事予定を、ホームページで随時活動報告や自己評価の結果を発信し、SNSでの連絡体制がある。ホームページについて周知に努める。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		3		マニュアル策定の周知はしている。来所時等に見て頂き、訓練実施に関しては周知に努める。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1		月に1回避難訓練を実施している。 その周知に努める。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2		速やかな連絡、状況説明を行っているが、 更に努めたい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	3				通所を楽しみにしてもらえよう、課題活動の充実ときめ細かい支援に努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ばいんといちに	公表日				年 月 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	用途によって区切ったり、活動場所を分けたりして空間を活用している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3	配置数に不足が出ないようにシフト作成を行っている。	法令上は適切であるが、中重度利用児が多いため、更なる配置に努める。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	用途によってスペースを区切る、見てわかる、不要な刺激を与えない等構造化や視覚支援に努めている。バリアフリーではないため声掛けで注意を促している。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃、消毒と定期的にエアコンフィルター清掃を実施している。	建物の老朽化により、随時手入れが必要である。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		奥のクールダウンスペースや2階を活用している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		全職員が会議に参加できるよう努め、参加できない職員には職員会議記録で内容を共有している。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ご意見は真摯に受け止め、改善に努めている。	発信不足でご理解頂けていないことがあるため、更に努めたい。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議、毎日の朝礼、その他随時意見を述べ、検討、決定した内容は共有し、「まずやってみる」姿勢で取り組んでいる。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		現在実施していない。必要に応じて行う。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		毎月1回必須研修を実施して、気づきや今後の取り組みに繋げるなどしている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントとニーズ、課題の把握に努め、計画に反映できるよう努めている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		基本全職員がケース会議に参加し、よりよい計画作成に向けて共通理解に努め、検討している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		主に短期目標に沿った個人トレーニングを実施している。	下校時間が遅くなり短い滞在時間だと、ルーティンワークで終わってしまうことがあるため、短縮時や長期休暇等に集中して行う。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	児発管による定期的なフォーマルなアセスメントと、毎回全職員によるインフォーマルなアセスメントを実施している。	全職員で共有する。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		個別支援計画書に明記しているが、支援内容を説明する際ご理解頂けるよう保護者にお伝えし、職員間でも更なる周知に努める。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		必要に応じて改善したり新たな試みを取り入れたながら、個々に合わせたプログラム作りをしている。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6						

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼で決定、確認し、参加していない職員にはラインで共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	翌日朝礼で振り返り、朝礼に参加しない職員にはラインで共有している。	その日のうちには時間的に難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	ケース記録を毎回取って、支援の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			全職員で共有する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6		4つの基本活動を元に日々の活動、課題活動を実施し、支援している。	4つの基本活動を職員にも周知する必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		お買い物、お菓子選び、おもちゃ選び、課題での種々選択等自己選択の機会を様々な場面で設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的に児発管が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		必要に応じて対応する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		随時行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		随時行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4		必要に応じて対応する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		堺市育成事業を通して児童発達支援センターから専門家をお招きして助言を受けている。	時間のすり合わせが難しい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	近隣の公園で一緒に遊ぶ機会がある。 他のデイサービスのイベントに一昨年10名、 昨年3名参加。	今後は地域のこどもが参加するイベント等にも参加を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時の申し送り、ラインや電話で共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	一昨年はペアレント・トレーニングを週1回3か月に亘り実施。	希望者が集まれば計画、実施したい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		基本来所での面談を実施しているが、来所が難しい場合は、訪問、ラインビデオ等で実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		コロナ前は保護者会を定期的に開催していたが、現在は行っていない。要望があれば開催していく。兄弟同士の交流の機会には設けていないが、要望があれば検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		送迎時、電話、面談等相談や申入れへの対応は随時行っている。	保護者への周知・説明、適切な対応に努める。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		紙媒体で月1回行事予定を、ホームページで随時活動報告や自己評価の結果を発信し、SNSでの連絡体制がある。	ホームページについて保護者への周知に努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		こどもとの意思疎通は絵カード、パワーポイント等の視覚支援を取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在実施していない。今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			来所時等に見て頂き、訓練実施に関しては周知に努める。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		具体的な救出訓練を実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		随時保護者より連絡頂いている。	全職員で共有する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4		保護者から聞き取り、対応の仕方を伺っている。医師の指示書があれば、それに基づいて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			全職員で共有する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		周知していることを全職員で共有する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		3か月に1度事例検討会を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修の他、定期的に自己チェック、確認テスト等を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			記載していることを全職員で共有する。